

# IBM MQ 9.3 とその保守に関する README

本書には、IBM MQ 9.3.0 長期サポート・リリースとその保守、および IBM MQ 9.3.x 継続的デリバリー・リリースに関する README 情報が記載されています。

英語版および翻訳版のこの文書の PDF コピーは、ここ、<https://public.dhe.ibm.com/software/integration/wmq/docs/V9.3/Readme/>からダウンロードできます。

この文書の英語版は最新バージョンです。

## 内容

本書の主なセクションでは、製品の制限と既知の問題について説明します。

この資料に加えて、IBM MQ Web サイトについての詳細は、以下の情報を参照してください <https://www.ibm.com/products/mq>。

SupportPac Web ページがここに表示されます <https://ibm.biz/mqsupportpacs>。

既知の問題および使用可能なフィックスについては、「IBM MQ サポート」ページ [https://www.ibm.com/mysupport/s/topic/OTO5000000024cJGAQ/mq?language=en\\_US&productId=01t0z000006zdYXAAY](https://www.ibm.com/mysupport/s/topic/OTO5000000024cJGAQ/mq?language=en_US&productId=01t0z000006zdYXAAY) を参照してください。

IBM MQ のサポートされるすべてのバージョンに関する製品資料は、IBM 資料、<https://www.ibm.com/docs/ibm-mq> を通じて入手できます。具体的には、IBM MQ 9.3 製品の情報は、IBM 資料 <https://www.ibm.com/docs/ibm-mq/9.3> に提供されています。

## 発表レター

IBM MQ 9.3 の発表レター (米国英語) は、以下の場所にあります。発表レターは、以下のタイプの情報を提供します。

- 詳細製品説明 (新機能の説明を含む)。
- プロダクト位置決めステートメント。
- 注文の詳細。
- ハードウェアおよびソフトウェアの要件。
- 時間単位の価格設定。

IBM MQ 9.3.5、IBM API Connect、IBM App Connect Enterprise、Noname Advanced API Security for IBM 1.1.1、および Noname Advanced API Security as a Service for IBM

<https://www.ibm.com/docs/announcements/AD24-0123/index.html>

IBM Cloud Pak for Integration 2023.4.1 および IBM MQ 9.3.4 は、新しい統合機能を提供します。IBM StepZen Graph Server の名前が変更されました。

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/223-0759/index.html>

IBM MQ Advanced for z/OS には、コネクタ・バックが含まれています。

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/223-0578/index.html>

IBM Cloud Pak for Integration 2023.2.1、IBM API Connect Cloud Service、IBM Event Automation 1.0、IBM MQ for Multiplatforms 9.3.3、IBM MQ Appliance 9.3.3、および Noname Advanced API Security for IBM

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/223-110/index.html>

IBM MQ for Multiplatforms、IBM MQ for z/OS、IBM MQ for z/OS Value Unit Edition、IBM MQ Advanced for z/OS Value Unit Edition、IBM MQ Appliance、および IBM MQ on Cloud 9.3.2

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/223-065/index.html>

IBM Cloud Pak for Integration 2022.4.1、IBM Integration Bus for z/OS 10.1、IBM MQ 9.3.1、および IBM App Connect Enterprise as a Service

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/222-341/index.html>

IBM MQ 9.3 for Multiplatforms および IBM MQ on Cloud

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/222-129/index.html>

IBM MQ for z/OS、 9.3、 IBM MQ Advanced for z/OS、 9.3、 IBM MQ for z/OS VUE 9.3、 および IBM MQ Advanced for z/OS VUE 9.3

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/222-131/index.html>

IBM MQ Appliance M2003 (IBM MQ Appliance 9.3 ファームウェアを実行)

<https://www.ibm.com/docs/en/announcements/222-212/index.html>

## 更新履歴

日付	要約
2024年4月26日	IBM MQ 9.3.5.1 および 9.3.0.17 CSU の更新
2024年2月29日	IBM MQ 9.3.5 の更新および発表レターへのリンク
2023年12月14日	IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 15 の更新情報
2023年10月31日	IBM MQ 9.3.4 の発表レターへのリンク
2023年10月19日	IBM MQ 9.3.4 の更新情報
2023年8月31日	IBM MQ 9.3.0、フィックスパック 10 の更新
2023年8月1日	IBM MQ Advanced for z/OS Connector Pack の発表レターへのリンク
2023年6月20日	IBM MQ 9.3.3 の更新
2023年4月27日	IBM MQ 9.3.0、フィックスパック 5 の更新
2023年2月16日	IBM MQ 9.3.2 の更新
2022年12月21日	IBM MQ 9.3.0、フィックスパック 2 の更新
2022年10月20日	IBM MQ 9.3.1 の更新
2022年9月22日	IBM MQ 9.3.0、フィックスパック 1 の更新
2022年7月15日	IBM MQ Appliance M2003 発表レターへのリンク
2022年7月5日	IBM MQ 9.3.0 for z/OS の更新
2022年6月23日	IBM MQ for Multiplatforms 9.3.0 用に作成されました。

## インストール手順

インストールの説明は、IBM 資料 [https://www.ibm.com/docs/SSFKSJ\\_9.3.0/install/q008250\\_.html](https://www.ibm.com/docs/SSFKSJ_9.3.0/install/q008250_.html) で公開されている IBM MQ 9.3 製品の情報の一部として提供されています。

## Continuous Delivery リリースに関する制限および既知の問題

### IBM MQ 9.3.5.1 CSU の制限および既知の問題

#### FIPS モードでの RSA 鍵交換のサポートが削除されました

IBM Java 8 JRE は、FIPS モードでの操作時に RSA 鍵交換のサポートを除去します。この削除は、以下の CipherSuites に適用されます。

- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_3DES\_EDE\_CBC\_SHA

引き続き FIPS モードを使用するには、引き続きサポートされている CipherSuite を使用するように、以下の IBM MQ コンポーネントを変更する必要があります。

- AMQP サーバー
- Managed File Transfer (MFT)
- IBM MQ コンソール
- IBM MQ Explorer
- IBM MQ REST API
- IBM MQ Telemetry サービス

サポートされる CipherSuites について詳しくは、IBM MQ 製品資料の [IBM MQ classes for JMS の TLS CipherSpecs](#) および [CipherSuites](#) を参照してください。

## IBM MQ 9.3.5

### **ProtocolBridgeProperties.xml ファイル内の無効なプラットフォーム値は、サイレントで無視されます。**

Managed File Transfer ProtocolBridgeProperties.xml ファイルでは、**platform** 値は OS400、UNIX、または WINDOWS でなければなりません。ただし、別の値を指定すると、プロトコル・ブリッジ・エージェントはエラーを報告せず、デフォルトでエージェントのプラットフォームになります。これは予期しない動作を引き起こす可能性があります。

この問題は、APAR IT45102 で対処されています。この APAR は、IBM MQ 9.3.5 に含まれています。この APAR は、エラー・メッセージ BFGPR0156E を追加します。これは、ロードした XML ファイルに無効なデータ値があることを示し、その修正に役立つ詳細情報を提供します。

## IBM MQ 9.3.4 の制限および既知の問題

### **IBM MQ 9.3.4 Developer Edition を Red Hat にインストールするとライセンス資格メッセージを受け取る**

Red Hat に Developer Edition をインストールすると、以下のメッセージが複数回表示されることがあります。

```
AMQ5770E: Licensed entitlement 'advanced' could not be set for installation at '/opt/mqm'.
```

この問題は IBM MQ 9.3.4 Developer Edition の操作には影響しません。このメッセージは無視してかまいません。

## IBM MQ 9.3.3

### **IBM MQ AMQP チャンネルがアップグレード後に AMQP サービスで自動的に開始しない**

実行中の AMQP チャンネルを持つキュー・マネージャーが IBM MQ 9.3 にアップグレードされ、キュー・マネージャーおよび関連する AMQP サービスが再始動された場合、以前に実行されていた AMQP チャンネルは自動的に開始されません。

この問題は、IBM MQ 9.3.3 に組み込まれている APAR IT37842 によって修正されています。

マイグレーションが実行されるのは 1 回のみであることに注意してください。アップグレード後に初めてキュー・マネージャーが開始されます。したがって、IBM MQ 9.3.3:

- IBM MQ 9.3.3 をインストールする前に、以前の IBM MQ 9.3 レベルでキュー・マネージャーと AMQP チャンネルを開始した場合、AMQP チャンネルは自動的に開始されます。追加のアクションを実行する必要はありません。
- IBM MQ 9.3.3 をインストールする前に、以前の IBM MQ 9.3 レベルでキュー・マネージャーと AMQP チャンネルを開始していなかった場合は、キュー・マネージャーと関連 AMQP サービスの再始動時に、以前に実行されていた AMQP チャンネルを手動で再始動する必要があります。

### **Linux: アンインストール後に空のディレクトリが残る**

Linux で製品をアンインストールすると、MQ\_INSTALLATION\_PATH ディレクトリに空のディレクトリが残ります。

この問題は、今後のリリースで対処されます。一方、これらの空のディレクトリは、製品の実行に問題を引き起こすことなく、無視してかまいません。

## IBM MQ 9.3.1 および 9.3.2 の制限および既知の問題

新たな制限または既知の問題はありません。

## 長期サポート・リリースに関する制限および既知の問題

### IBM MQ 9.3.0.17 CSU の制限および既知の問題

#### FIPS モードでの RSA 鍵交換のサポートが削除されました

IBM Java 8 JRE は、FIPS モードでの操作時に RSA 鍵交換のサポートを除去します。この JRE は、以下の IBM MQ コンポーネントによって使用されます。

- AMQP サーバー
- Managed File Transfer (MFT)
- IBM MQ コンソール
- IBM MQ Explorer
- IBM MQ REST API
- IBM MQ Telemetry サービス

これらのコンポーネントでは、以下の CipherSuites を使用できなくなりました。

- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_3DES\_EDE\_CBC\_SHA

代替の CipherSuite を使用するか、FIPS モードを無効にする必要があります。サポートされる CipherSuites について詳しくは、IBM MQ 製品資料の [IBM MQ classes for JMS の TLS CipherSpecs および CipherSuites](#) を参照してください。

## LIMITATIONS AND KNOWN PROBLEMS FOR IBM MQ 9.3.0, FIX PACK 15

### IBM MQ Bridge to blockchain が削除された

IBM MQ Bridge to blockchain は、2022 年 11 月 22 日からすべてのリリースで非推奨になり、IBM MQ 9.3.0.15 で製品から削除されました。ご使用のシステムに MQSeriesBCBridge コンポーネントがインストールされている場合は、この保守更新の完了後に手動で削除してください。

### IBM MQ 9.3.0、FIX パック 10

新たな制限または既知の問題はありません。

### IBM MQ 9.3.0、FIX パック 5

#### IBM MQ AMQP チャネルがアップグレード後に AMQP サービスで自動的に開始しない

実行中の AMQP チャネルを持つキュー・マネージャーが IBM MQ 9.3 にアップグレードされ、キュー・マネージャーおよび関連する AMQP サービスが再始動された場合、以前に実行されていた AMQP チャネルは自動的に開始されません。

この問題は、IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 に含まれている APAR IT37842 によって修正されています。

マイグレーションが実行されるのは 1 回のみであることに注意してください。アップグレード後に初めてキュー・マネージャーが開始されます。したがって、IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 を適用した後は、以下のようになります。

- IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 をインストールする前に、以前の IBM MQ 9.3 レベルでキュー・マネージャーと AMQP チャンネルを開始した場合は、AMQP チャンネルが自動的に開始されます。追加のアクションを実行する必要はありません。
- IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 をインストールする前に、以前の IBM MQ 9.3 レベルでキュー・マネージャーと AMQP チャンネルを開始していない場合は、キュー・マネージャーと関連 AMQP サービスの再始動時に、以前に実行されていた AMQP チャンネルを手動で再始動する必要があります。

### IBM MQ 9.3.0、FIX PACKS 1 および 2 の制限および既知の問題

新たな制限または既知の問題はありません。

### IBM MQ 9.3.0 初期リリースの制限事項および既知の問題

#### Linux での IBM MQ エクスプローラーの始動時に表示されるメッセージ

Linux シェルから IBM MQ エクスプローラーを始動すると、以下のメッセージ (または同様のメッセージ) が表示される場合があります。

```
(MQExplorer:76481): dbind-WARNING **: 18:20:00.523: Couldn't register with accessibility bus: Did not receive a reply. Possible causes include: the remote application did not send a reply, the message bus security policy blocked the reply, the reply timeout expired, or the network connection was broken.
```

```
(java:76601): dbind-WARNING **: 18:20:00.927: Couldn't register with accessibility bus: Did not receive a reply. Possible causes include: the remote application did not send a reply, the message bus security policy blocked the reply, the reply timeout expired, or the network connection was broken. SWT SessionManagerDBus: Failed to connect to org.gnome.SessionManager: Could not connect: Permission denied SWT SessionManagerDBus: Failed to connect to org.xfce.SessionManager: Could not connect: Permission denied
```

この問題は IBM MQ エクスプローラーの操作には影響せず、以下の環境変数を設定することによって抑止できます。

```
NO_AT_BRIDGE=1
```

この問題は、IBM MQ Explorer 9.3.1 で修正されています。

#### IBM MQ エクスプローラーの Web コンソール・パネルにプロパティーが表示されない

IBM MQ エクスプローラーの場合、ローカル・キュー・マネージャーを開始すると、Web コンソール・パネルに INITKEY プロパティーと KEYRPWD プロパティーが表示されません。

この問題は、IBM MQ Explorer 9.3.1 に含まれている APAR IT41181 によって修正されています。

#### Windows インストーラー・ランチパッドが Windows Server 2016 にサポート対象プラットフォームとして誤ったフラグを立てる

IBM MQ 9.3.0 Windows インストーラー・ランチパッドは、Windows Server 2016 にサポート対象プラットフォームとしてフラグを立てます。しかし、これは正しくありません。Windows Server 2016 は IBM MQ 9.3 ではサポートされません。

この問題は APAR IT41233 によって修正されています。この APAR は、IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 1 および IBM MQ 9.3.1 に含まれています。

#### IBM MQ for z/OS ジョブ・ログのメッセージ CSQM586E に関する多数の項目

IBM MQ for z/OS では、キューがストリーミング・キューで構成され、STRMQOS (BESTEF) が設定されている場合、MQOPEN、MQPUT または MQPUT1 がストリーミング・キューに失敗すると、メッセージ CSQM586E がジョブ・ログに出力されます。

ログに記録されるメッセージの数が多すぎると思われる場合は、EXCLMSG を使用してそれらのメッセージを抑止することができます。

代替方法として、STRMQOS (MUSTDUP) を使用することもできます。

## **IBM MQ AMQP チャンネルがアップグレード後に AMQP サービスで自動的に開始しない**

実行中の AMQP チャンネルを持つキュー・マネージャーが IBM MQ 9.3 にアップグレードされ、キュー・マネージャーおよび関連する AMQP サービスが再始動された場合、以前に実行されていた AMQP チャンネルは自動的に開始されません。

この問題は、IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 に含まれている APAR IT37842 によって修正されています。

マイグレーションが実行されるのは 1 回のみであることに注意してください。アップグレード後に初めてキュー・マネージャーが開始されます。したがって、IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 を適用した後は、以下のようになります。

- IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 をインストールする前に、以前の IBM MQ 9.3 レベルでキュー・マネージャーと AMQP チャンネルを開始した場合は、AMQP チャンネルが自動的に開始されます。追加のアクションを実行する必要はありません。
- IBM MQ 9.3.0 フィックスパック 5 をインストールする前に、以前の IBM MQ 9.3 レベルでキュー・マネージャーと AMQP チャンネルを開始していない場合は、キュー・マネージャーと関連 AMQP サービスの再始動時に、以前に実行されていた AMQP チャンネルを手動で再始動する必要があります。

## **著作権、特記事項および商標**

### 著作権および商標情報

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

U.S.A.

2 バイト (DBCS) 情報に関するライセンス照会については、国内にある IBM の知的財産部門にご連絡いただくか、書面にて以下までお問い合わせください。

Intellectual Property Licensing

Legal and Intellectual Property Law

〒 103-8510

19-21, Nihonbashi-Hakozakicho, Chuo-ku

Tokyo 103-8510, Japan

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。これらの Web サイトの資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。これらの Web サイトの使用は自己責任で行ってください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
J46A/G4  
555 Bailey Avenue  
San Jose, CA 95141-1003  
USA

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

#### 著作権ライセンス

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

以下は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。  
AIX, IBM, WebSphere, z/OS

Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

:NONE.

詳細については、<https://www.ibm.com/legal/copytrade> を参照してください。